

# WE Original Action

Pick up topic

## SDGs



資金支援 物資支援 ボランティア 啓発活動 自己行動変革 政策提言

WE SCHOOLS

# オリジナルアクションを考え、 自分で道を切り開こう！

このWE Original Actionキャンペーンキットは、アクションを起こすための基本的な4つのステップを踏みながら、オリジナルのアクションを起こせるようになっています。仲間と一緒にアクションを起こせるキット内容ですが、1人でももちろん大丈夫！私たち WE フリー・ザ・チルドレンも、1人の少年のアクションから始まりました。

## WE フリー・ザ・チルドレンとは

ひとりの12歳の少年、クレイグから始まった WE フリー・ザ・チルドレン。

「子どもになんか何もできないよ」、「おとなになってからやれば」と、活動を始めた当初、クレイグくんは周りからそう言われました。

でも、「子どもだって変化を起こせる。子どもだからこそできることがある。」と信じて活動を続けたところ、だんだん仲間が増え今では45か国以上で370万人の子どもや若者が活動に参加しています。

その結果、開発途上国に1000校以上の学校を建設し、100万人以上の人々が安全な水を飲めるようになりました。

「子どもや若者は助けられるだけの存在ではなく、自身が変化を起こす担い手である」という理念のもと、子どもや若者が自分の持つ力を発揮して、より良い世界をめざし行動を起こせるよう環境づくりに取り組んでいます。



(写真) 支援先のコミュニティにて撮影  
当団体設立者のクレイグ・キールバーガーと  
ケニアの子どもたちとマララ・ユスフザイ(2014年ノーベル平和賞受賞)

## Pick Up! このキャンペーンキットでの活動事例

- ▶読み聞かせプログラムを作る。上級生と下級生がペアになり、週に1回本を読み合う。地域と一緒に活動して、老人ホームに読み聞かせに行く。
- ▶新学期に楽しめるお祭りを開催する。参加者はお金の寄付・物資の寄付を持っていき、引き換えにお祭りので使えるチケットを渡し、ゲームなどが出来るようにする。
- ▶社会問題をテーマにしてタレントショーを実施する。ポエムを読んだり、ギターで弾き語りをしたり、それぞれの得意なことを活かして、クリエイティブに問題を伝える。
- ▶ムービーナイトを開催する。お気に入りのドキュメンタリー動画を見て、ディスカッションを行う。参加チケットを販売して、売り上げを寄付する活動を行う。

**さあ、一緒にアクションを起こしていこう！**

# WE Original Action

## キャンペーンキット -目次-

### ステップ1 取り組みたい社会問題を決めよう

取り組みたい社会問題を決めよう（問題コンパス）	03
SDGsと関連付けよう	04
なぜその問題を解決すべきだと思えるのか、整理しよう	05

### ステップ2 目標を決めてアクション計画を立てよう

メンバーのGIFT（好きなこと・得意なこと）を活かそう	06
アクションの種類を知ろう	07
S.M.A.R.T. 目標を決めよう	08
必要なことを整理しよう	09
役割分担をしよう／危機管理を考えよう	10
スケジュールを確認しよう	11

### ステップ3 TAKE ACTION!アクションを起こそう

活動をやりきるアドバイス／活動する時に守ってほしいこと	12
活動中の記録を取ろう	13

### ステップ4 アクションを振り返り、報告・お祝いしよう

アクションを振り返り、報告・お祝いしよう	14
----------------------	----

ワークシート	15
活動終了証	16

## ステップ1 取り組みたい社会問題を決めよう

どのような社会問題があるのかを、みんなで出し合いながら、それぞれの意見を聞き、グループ内でアクションを起こすことに一番興味のある問題を見つけよう。



アクティビティハンドブック

### 問題コンパス

質問を投げかけながら社会問題を出していき、グループ内での取り組む優先度合いを話し合うアクティビティ。



参考ページ

<フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 社会課題を知ろう！>  
<http://ftcj.org/we-movement/issues>

◆解決したい社会問題は、SDGsのどのゴールに関するか確認しよう



関係のあるSDGsのゴールは…

関係するターゲット (SDGsは17のゴールと169のターゲットからなる) があるか調べてみよう

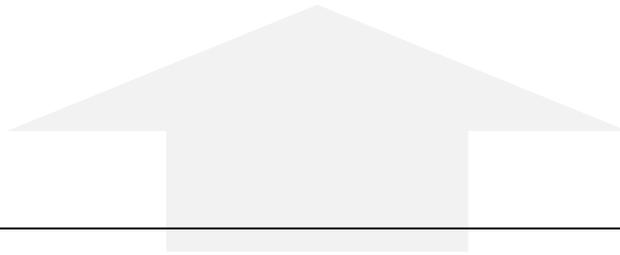
参考：フリー・ザ・チルドレン・ジャパン SDGsとは <http://ftcj.org/we-movement/sdgs>

## アクションを具体的に考える前に！

### ◆なぜその問題を解決すべきだと考えるのか、整理しよう

アクションをしていく中で、気持ちが下がったり、行き詰まった時、この“なぜ”が自分自身で明確になっていて、活動に参加してくれる仲間と共有できていると、また次の一歩を踏み出しやすい！アクションを起こす理由となる“問題解決のなぜ”を掘り下げよう！

なぜ【社会にとって】その問題は解決されるべきなのか？



解決したい社会問題

なぜ【私は・私たちは】その問題を解決したいと思うのか？

(気持ちや、興味を持ったきっかけのストーリーなどを具体的に記入)

## ステップ2 目標を決めてアクション計画を立てよう

### ◆メンバーのGIFT（好きなこと・得意なこと）を活かそう



それぞれのスキルや好きなこと・情熱などを理解することは、良いオリジナルアクションを作るカギとなります！お互いを知る時間を設けよう。

それぞれの好きなこと・得意なことをどう活かせるかアイデアを出そう。例えば、楽器を演奏するのが好きであれば、チャリティーコンサートをひらいたり、計算が得意な人が活動の会計を担当したり、絵を描くのが好きな人がポスターを作ったり…など考えられます。

箇条書きで好きなことを“Gift”の欄に書きだし、ステップ1で決めた取り組む社会問題“Issue”とパズルのように組み合わせで”Change”にアクションのアイデアを書き出していこう。

# Gift + Issue = Change

サッカー	—	教育格差	/	体験型ゲームの開発
ゲーム	—	児童労働	/	問題をケーキで表し投稿
絵を描くこと	/	環境破壊	/	演劇を通じて伝える
SNSに写真投稿	/	子どもの権利	/	ポスターを作る
料理	/	貧困問題	/	チャリティー大会の開催
演劇	/	動物殺処分	/	フリーマーケットの開催
ファッション				

色んなアイデアが出せたら、みんなで取り組めて、ワクワクするようなアクションを1つ決めて○をつけておこう。

そのアクションを起こすうえで、活用できると思うみんなの好きなこと・得意なことを改めて書き出しておこう。後で役割を考える際にも役立ちます。

名前	好きなこと・得意なこと

名前	好きなこと・得意なこと

## ◆アクションの種類を知ろう

Gift + Issue = Change を考える時、“6つのアクションの種類”も意識してみよう。

### ボランティア

自分の時間を解決したい問題のために使う方法。地域の困っている人の手助けをしたり、違う国のコミュニティーのために活動したり、出来ること・可能性は無限大！

例：

**掃除・おしゃべり + 地元の環境問題**  
=友達と週末に地域の清掃活動に参加する

**旅行・交流 + 教育問題**  
=夏休みにスタディツアーに参加し、インドで教育支援の様子を見る、支援活動を手伝う

### 資金調達

個人、企業などから、募金を集める方法。貯金をする、自分で作ったものなどを販売する、街頭募金活動を行うなど、お金の集め方も様々！

例：

**お手伝い + 水問題**  
=お手伝いをしてもらったお小遣いを貯金して募金する

**パン作り + 世界の子どもの貧困問題**  
=カフェに協力をお願いし、バレンタインに手作りのパンやお菓子を販売し、その利益を募金する

**にぎやかにする + 干ばつ問題**  
=ハロウィンに仮装をして、街頭募金を行う

### 自己行動変革

自分自身の問題に対する理解を深めたり、自分の良くないと思う癖や習慣を、良いものに変えていくなど、自分の行動・生活に変化を起こす方法。

例：

- ・毎月テーマを決め、社会問題に関する本を読む
- ・歯磨きなどの時に、水を止めるようにする
- ・マイボトルやマイストロー、マイバックを持ち歩き、プラスチックカップやストロー、レジ袋などを使わないようにする
- ・食べ残さないよう、食べられる分だけ頼む
- ・商品の背景が分かるフェアトレード・エシカル商品を選ぶようにする
- ・肉を食べない曜日を決める
- ・洋服を1年で捨てず、長く大切に着る

### 啓発活動

他の人に、自分の解決したい問題について知ってもらうために活動する方法。身近な相手から、不特定多数の人まで、知ってもらう相手も知ってもらう方法も様々！

例：

**人前で話す + 児童労働問題**  
=先生にお願いし学校で自分のスピーチをできる時間を作ってもらい、みんなに問題を伝える  
\*フリー・ザ・チルドレンも、1人の12歳の少年が、クラスみんなにスピーチしたことから始まりました！

**バスケットボール + 学校内のいじめ問題**  
=いじめ反対のメッセージを込めたリストバンドをバスケットボール部の部員で着用し、いじめを許さない意思を広めていく

### 物資支援

ある“モノ”を必要としている人に、その“モノ”を届ける活動方法。

例：

**家に眠っている缶詰 + 食の格差問題**  
=貰ったけど苦手で食べられない・買すぎて食べきれない食べ物を地域のフードバンクや子ども食堂に寄付をする

**生徒会活動 + 教育格差問題**  
=クラス・学校のみなが余らせている文房具を集め、開発途上国の子どもの施設に届ける

### 政策提言

地域・日本・世界で起きている不公正な問題に対して、それを政策として変化を起こすために、政治機関に対して働きかける方法。

例：

**署名を集める**  
街頭での呼びかけ・インターネットなどで、同じ変化を求めている人に署名をしてもらい、集まった署名を政治家などに提出する

**議員に会って直接話す・問題を伝える**  
地元の議員に面会の機会をもらい、解決したい問題や解決のためのアクションを伝える。議員から議会で提案してもらい、実際に政策に反映してもらうよう促す

## アクションのアイデア (Changeで選んだものを記入)

### ◆S.M.A.R.T. 目標を決めよう



問題について学んだら、アクションのゴールを決めよう！

具体的なゴールを決める・計画を立てるのには、S.M.A.R.T. 目標の考え方が役に立つよ。

S	<b>Specific 【具体的】</b>	何を成し遂げたいのか、何をするのか明確に！5W1Hに答えられるようにしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ フリー・ザ・チルドレンのケニアの支援先で学校を建設するため、150万円を集める。</li> <li>× 海外の子どもの教育支援をする。</li> </ul>
M	<b>Measurable 【測定可能】</b>	「この目標は、どうなったら達成したと言えるのだろうか？」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校の10クラスでそれぞれスピーチをするために、10人の先生に協力してもらう。</li> <li>× できる限りスピーチを行う。</li> </ul>
A	<b>Attainable 【達成可能】</b>	「この目標は現実的？」大きな目標は恐れず、でも現実的な目標を定めよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国が割り当てる公立学校予算の課外活動費を増やすため、署名を3,000人からもらう。</li> <li>× 予算を増やすための話し合いを毎週総理大臣と出来るようにする。</li> </ul>
R	<b>Relevant 【関連のある】</b>	「このアクションの価値は何？」「アクションは問題や関係者に適している？」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国内の貧困支援のため、コートや布団集めを冬に行う。</li> <li>× コート集めを夏休みに行う。</li> </ul>
T	<b>Time-specific 【具体的な 時間設定】</b>	「いつまでに達成する？」「活動しやすいスケジュール？」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6月のイベント実施におけ、5月1日までにプレスリリースをして宣伝をする。</li> <li>× 出演してくれる人が見つかったらチャリティイベントをする。</li> </ul>

## ア ク シ ョ ン の ゴ ー ル

◆必要なことを整理しよう

アクションを起こす上で、味方になってくれる人/助けになってくれる人は誰だろう？  
 友達、先生、家族、地域の政治家、企業など、考えられる人を書き出そう。  
 すべきことはなんだろう？必要な資材などは何があるだろう？

こと	
もの	
ひと	

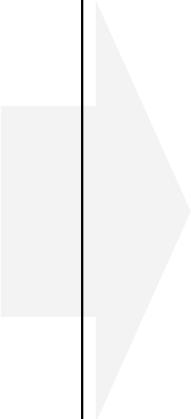
◆役割分担をしよう

行うことに対して担当する人（責任を持つ人）を決めておくと、円滑に活動ができるよ。  
考えられる役割を書き出して決めよう。

役割	担当する人

◆危機管理を考えよう

アクションを進めていくと、壁に直面することもある。事前に対応策を考えておくと、実際に何か起こった場合もスムーズに解決することができるよ。

考えられる困難	対応策
	

◆スケジュールを確認しよう  
 ゴール達成に向けて、いつ何を行うのか、計画を立てよう。

日付	やること
<p>例) 7月20日</p>	<p>例) 全校集会で、始業式の日を食べものを集めることを呼びかける。</p>

## ステップ3 TAKE ACTION! アクションを起こそう

遂にアクションを起こすとき！  
活動中の写真や現状を発信しよう。  
SNSで発信する時は、ハッシュタグも忘れずに。

アクションが上手くいかず、モチベーションが下がってしまった時には、なぜこのアクションに取り組んでいるのかに立ち戻ろう。（参照：p.5）

キャンペーン  
ハッシュタグ

#WEOriginalAction

### ～活動をやりきるアドバイス～

- ・楽しさを取り入れよう。  
例：ミーティングの最初にアイスブレイクゲームをしてみよう。
- ・活動の成果に途中途中で目を向けて、成果を実感していこう。
- ・お互いに頑張っていること、よかったことを言葉にして伝えよう。
- ・無理なく実施ができているか、時と場合に応じて計画は見直そう。

楽しむことを忘れずに！

### 活動する時に守ってほしいこと

- 1 多様性を認め合い、年齢、人種、宗教・信条、民族性、障害、性的指向、外見を基準に差別や相手を傷つけるような言動・暴力はせず、それぞれの個性を尊重する。もし意図せず相手を傷つけてしまったら、立場に関係なく気持ちを込めて謝罪をする。
- 2 熱中症対策、交通機関のルール確認、避難経路の確認など、安全に十分に配慮する。
- 3 メンバーの顔写真や名前などの個人情報を本人の許可なく無断でSNSに載せない。
- 4 活動を通じて知り合った大人や子どもと、活動と無関係な理由で頻繁に電話やメールをしない。困ったらすぐに先生や大人に相談する。
- 5 子どもと大人は密室で2人きりにならない。
- 6 お金の貸し借りはしない。活動にお金が必要な場合は、どのように集め・管理するかしっかりと話し合っ決めてよう。

※子どもの権利条約に従い、「子ども」とは18歳未満のすべての人と定義しています。18歳未満の子どもは、権利を持つ主体と位置付けられ、おとなと同様ひとりの人間としての人権を認めるとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要と考えています。

## ◆活動中の記録を取ろう

成果や感じたことは、活動中に記録をしておこう。下の記録スペースも活用してください。ワークシート③<ポートフォリオ>もあらかじめ見ておこう！

### 📝 記録のポイント

#### 成果の記録

- ・ アクションを実施した期間(日数)
- ・ 設定した数値目標に対する結果(協力者数や成果の数値)

#### 過程の記録

- ・ 成果を出すために、どのような行動を起こしたか。(簡単だったこと、難しかったこと)
- ・ 一番楽しかったこと、印象に残ったことはどんなことか。
- ・ 地域の人たちは活動に参加してくれたか。
- ・ 次回行おうとしたら、改善したいことはなにか。
- ・ このアクションでどんな影響を与えることが出来たと思うか。

### ★写真や動画を撮れる場合

活動中の様子、活動場所の様子、準備したもの、成果物、新聞記事などを記録しよう！

📝 活動中に気づいたことを記録しておこう

## ステップ4 アクションを振り返り、報告・お祝いしよう



### ◆アクションを振り返ろう！

個人で・グループで、活動中に記録したメモを元に活動を振り返り、経験だけで終わらず、“学び”にしよう。振り返りのワークシートを活用して、ポートフォリオとして保存し、今後も活かしていこう。

### ◆アクションを報告しよう！

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンに活動報告はしましたか？  
みんなのアクションが集まれば、そのチカラはもっと大きくなる！

アクションキャンペーン報告フォーム ⇒ <http://ftcj.org/actioncampaign/report>

### ◆アクションをお祝いしよう！

アクションの成功をお祝い・そして周囲に共有して、頑張った自分を称えよう！

- ・活動をまとめたポスターを作成して、掲示する
- ・活動中の写真や動画記録を作って学校のウェブサイトでも発信する
- ・活動を報告スピーチを全校集会やホームルームで行う
- ・活動をお祝いする賞状（活動終了証）を送ろう  
※フリー・ザ・チルドレン・ジャパンへ活動報告を行うと、正式な活動証明書の発行も出来ます。  
グループや学校での活動の場合、担当の先生/フリー・ザ・チルドレン連絡担当の方が一括で所定のフォームから申請をお願いします。（個人での活動の場合は、個人で申請できます）
- ・アクションをお祝いするイベント（報告会）を開く
- ・WE Dayに参加する

#### \*WE Dayとは？

フリー・ザ・チルドレンが主催する、「誰かのためにアクションをおこした子どもをみんなで祝う日」のライブイベントです。様々なアーティストや活動家が、パフォーマンスやスピーチを通じて、皆さんの活動をお祝します。

参加無料のチケットを手に入れる唯一の方法は、アクションを起こし・それを報告すること！  
日本では2020年以降開催予定です！



### ◆アクションを続けていこう！

SDGsを達成するためには、一人一人が継続してアクションを続けることがとても重要です。この成功体験を活かして、これからも活動を続けていこう！



**WE Original  
Action**

ワークシート

【記入日】

\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

学年

クラス

番号

名前 (

)

## Gift

(好きなこと/得意なこと)

## Issue

(解決したい社会問題)

## Change

(アクションアイデア)



【記入日】  年  月  日 学年  クラス  番号  名前 (  )

## アクションのアイデア

◆ 以下のS.M.A.R.T.項目を1つ1つ確認しながら、アイデアを明確なゴールにしていこう。

<b>S</b>	<b>Specific 【具体的】</b>	何を成し遂げたいのか、何をするのか明確に！5W1Hに答えられるようにしましょう	
<b>M</b>	<b>Measurable 【測定可能】</b>	「この目標は、どうなったら達成したと言えるのだろうか？」	
<b>A</b>	<b>Attainable 【達成可能】</b>	「この目標は現実的？」大きな目標は恐れず、でも現実的な目標を定めよう	
<b>R</b>	<b>Relevant 【関連のある】</b>	「このアクションの価値は何？」「アクションは問題や関係者に適している？」	
<b>T</b>	<b>Time-specific 【具体的な時間設定】</b>	「いつまでに達成する？」「活動しやすいスケジュール？」	



【記入日】  年  月  日 学年  クラス  番号  名前 (  )

**実施内容****取り組んだ社会問題**

	SDGsゴール
--	---------

**実施期間**

年 月 日 ~ 年 月 日

**メンバー**

人 (名前: )

**協力者数**

**成果** (円/Kg/枚/人などの数値的結果)

**寄付先/活動先****振り返り**

▶取り組んだ社会問題はなぜ問題なのか、このアクションはどんな変化に繋がるのか

▶目標達成に向けて、あなたが/チームが工夫したこと、達成できたこと

▶困難だったこと、どう乗り越えたか、次回行おうとしたら、改善すること

▶このアクションを通じて、学んだこと

切り取り



## “WEOriginal Action” 活動終了証

# 殿

あなたは ” WE Original Action ” キャンペーンに参加し、社会問題を学び、  
解決のためのアクションを考え・実行しました。  
ここに、そのアクションキャンペーンの終了を記します。  
引き続きアクションを起こしていきましょう！  
**Be the Change!**

**活動期間：**

**参加人数：**

**社会問題：**

**実施内容：**

活動を共にした仲間からメッセージをもらおう！

TOGETHER WE WILL  
*change the World*

お問い合わせ

認定NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5 3F

TEL 03-6321-8948

Email [info@ftcj.com](mailto:info@ftcj.com)

HP <http://ftcj.org>

**WE** SCHOOLS

**WE** FREE THE  
CHILDREN

